



2019年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年5月9日

上場会社名 株式会社銀座ルノアール 上場取引所 東
 コード番号 9853 URL <https://www.ginza-renoir.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小宮山 誠
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 遠藤 芳子 TEL 03-5342-0881
 定時株主総会開催予定日 2019年6月25日 配当支払開始予定日 2019年6月26日
 有価証券報告書提出予定日 2019年6月26日
 決算補足説明資料作成の有無： 有
 決算説明会開催の有無： 有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2019年3月期の連結業績（2018年4月1日～2019年3月31日）

（1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	7,968	2.8	465	41.9	505	38.5	122	△25.3
2018年3月期	7,753	1.4	327	10.6	365	11.6	163	△15.5

（注）包括利益 2019年3月期 121百万円（△27.5%） 2018年3月期 168百万円（△16.4%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	20.00	19.97	2.1	7.4	5.8
2018年3月期	26.79	26.77	2.9	5.4	4.2

（参考）持分法投資損益 2019年3月期 ー百万円 2018年3月期 ー百万円

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	6,738	5,753	84.7	935.11
2018年3月期	6,860	5,715	82.7	930.28

（参考）自己資本 2019年3月期 5,708百万円 2018年3月期 5,673百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	549	△544	△130	2,001
2018年3月期	623	△572	△131	2,127

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期	ー	0.00	ー	14.00	14.00	85	52.3	1.5
2019年3月期	ー	0.00	ー	14.00	14.00	85	70.0	1.5
2020年3月期（予想）	ー	0.00	ー	14.00	14.00		22.5	

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	4,096	3.6	322	47.8	344	44.2	207	56.8	33.98
通期	8,280	3.9	614	31.9	654	29.3	379	211.3	62.26

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 - ② ①以外の会計方針の変更： 無
 - ③ 会計上の見積りの変更： 無
 - ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期	6,252,004株	2018年3月期	6,252,004株
② 期末自己株式数	2019年3月期	147,526株	2018年3月期	153,526株
③ 期中平均株式数	2019年3月期	6,102,357株	2018年3月期	6,098,478株

(参考) 個別業績の概要

1. 2019年3月期の個別業績（2018年4月1日～2019年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	7,812	2.8	442	43.9	489	41.5	120	△23.8
2018年3月期	7,599	1.6	307	△0.6	346	0.3	158	△19.9

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期	19.73	19.70
2018年3月期	25.92	25.90

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	6,670	5,678	85.1	929.51
2018年3月期	6,773	5,644	83.3	924.95

(参考) 自己資本 2019年3月期 5,674百万円 2018年3月期 5,640百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況(1) 当期の経営成績の概況」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2019年5月30日（木）に機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会の決算説明資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(表示方法の変更)	11
(セグメント情報)	11
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

①当期の経営成績

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善等、引き続き緩やかな回復基調が続いていますが、個人消費については根強い節約志向等、依然として弱さがみられます。また、米中の貿易摩擦懸念や英国のEU離脱問題等、海外経済の不確実性の高まりや金融資本市場の変動の影響等、实体经济の先行きは依然として不透明な状況となっております。

当社グループが属する喫茶業界におきましては、少子化による人材採用難や、賃金単価の上昇に加え、出店立地の選択において、賃借料の高騰や競合各社による競争も激化しており、依然として厳しい経営環境が続くものと思われま

す。このような状況の中、当社グループは2018年6月ミヤマ珈琲大船駅前店、2018年12月新宿中央東口店を新規オープンし、2018年4月東京駅八重洲北口店、上野しのばず口店、2018年6月品川高輪口店、池袋サンシャイン60通り店、2018年7月御徒町南口駅前店、新大久保駅前店、2018年8月ニュー新宿3丁目店、2018年10月新宿南口ルミネ前店、2018年11月六本木ラピロス店、2019年2月新橋汐留口駅前店を改装オープンいたしました。また、カフェ・ミヤマ目黒東口駅前店を業態変更し、2018年9月カフェ・ルノアール目黒東口駅前店としてオープンいたしました。

今後も、更にお客様に求められる価値観を提供し続けることが出来るよう、より高品質の商品やホスピタリティあふれるサービスの提供に努めてまいります。

また、店舗数につきましては、2018年5月カフェ・ルノアールヨドバシAkiba横店、2018年7月西銀座店、2018年10月ニューヨーカーズ・カフェ町田中央通り店を閉店いたしましたので、119店舗（内2店舗はFC）となりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は7,968百万円（前年同期比214百万円増）、営業利益は465百万円（前年同期比137百万円増）、経常利益は505百万円（前年同期比140百万円増）、親会社株主に帰属する当期純利益は122百万円（前年同期比41百万円減）となりました。

②今後の見通し

今後の見通しにつきましては、国内景気の回復には期待がもたれるものの、当社グループが属する喫茶業界を取り巻く環境は更に厳しくなることが予想されます。

当社グループはお客様に求められる価値観を提供し続けることが出来るよう、より高品質の商品やお客様がくつろげるホスピタリティあふれるサービスの提供に努力してまいります。

また、効率化の取り組みによる収益力の向上を目指し、長期安定的な経営基盤の確立に努めてまいります。

次期業績予想につきましては、売上高8,280百万円、営業利益614百万円、経常利益654百万円、親会社株主に帰属する当期純利益379百万円を見込んでおります。

(2) 当期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末の資産は、6,738百万円となり前連結会計年度末に比べ121百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金が126百万円減少したことによるものであります。

負債は985百万円となり前連結会計年度末に比べ159百万円の減少となりました。これは主に、流動負債のその他が58百万円、未払法人税等が51百万円、リース債務が45百万円減少したことによるものであります。

また、純資産は5,753百万円となり前連結会計年度末に比べ37百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が36百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は84.7%(前連結会計年度末は82.7%)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、2,001百万円となり前連結会計年度末に比べ126百万円減少いたしました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は549百万円(前年同期比74百万円減少)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益が277百万円、減価償却費が216百万円あったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は544百万円(前年同期比27百万円減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が323百万円、投資有価証券の取得による支出が208百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は130百万円(前年同期比0百万円減少)となりました。これは主に、配当金の支払額が85百万円、リース債務の返済による支出が45百万円あったことによるものであります。

(キャッシュ・フロー関連指標の推移)

	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
自己資本比率(%)	79.4	81.6	82.5	82.7	84.7
時価ベースの自己資本比率(%)	81.2	78.0	76.5	90.8	91.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	0.1	0.1	0.2	0.1	0.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	1,020.4	830.9	759.8	1,047.1	1,039.1

(注)1. 各指標の計算式は以下のとおりであります。

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

2. 各指標はいずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

3. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数(自己株式控除後)により計算しております。

4. 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の「営業活動によるキャッシュ・フロー」を使用しております。

5. 有利子負債は、連結貸借対照表上に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としており、また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の「利息の支払額」を使用しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内株主、取引先等であり、海外での活動がないことから、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、外国人株主比率の推移及び国内の同業他社の国際会計基準の適用動向を踏まえ、国際会計基準の適用について検討をすすめていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,171,675	2,045,394
売掛金	21,406	95,975
商品	33,416	23,420
その他	296,193	184,233
流動資産合計	2,522,691	2,349,023
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,693,640	3,623,736
減価償却累計額	△2,566,389	△2,616,259
建物(純額)	1,127,250	1,007,477
工具、器具及び備品	353,762	352,846
減価償却累計額	△300,760	△302,060
工具、器具及び備品(純額)	53,001	50,785
土地	518,173	518,173
リース資産	235,272	9,000
減価償却累計額	△190,938	△7,950
リース資産(純額)	44,333	1,050
その他	2,454	2,454
減価償却累計額	△2,454	△2,454
その他(純額)	0	0
有形固定資産合計	1,742,759	1,577,486
無形固定資産		
ソフトウェア	12,078	7,884
無形固定資産合計	12,078	7,884
投資その他の資産		
投資有価証券	159,763	358,118
長期貸付金	72,867	68,666
敷金及び保証金	1,888,466	1,859,517
長期預金	100,000	100,000
繰延税金資産	231,711	262,282
その他	130,287	155,787
投資その他の資産合計	2,583,097	2,804,372
固定資産合計	4,337,935	4,389,743
資産合計	6,860,627	6,738,766

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	103,849	93,955
短期借入金	80,000	80,000
リース債務	45,599	1,225
未払法人税等	162,852	111,372
賞与引当金	84,710	87,970
株主優待引当金	17,760	18,821
その他	391,066	332,119
流動負債合計	885,838	725,463
固定負債		
リース債務	1,225	—
役員退職慰労引当金	79,608	73,953
退職給付に係る負債	143,293	151,521
その他	34,821	34,821
固定負債合計	258,948	260,296
負債合計	1,144,787	985,760
純資産の部		
株主資本		
資本金	771,682	771,682
資本剰余金	1,062,078	1,063,097
利益剰余金	3,936,514	3,973,182
自己株式	△118,836	△114,191
株主資本合計	5,651,438	5,693,769
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,883	14,570
その他の包括利益累計額合計	21,883	14,570
新株予約権	4,066	4,160
非支配株主持分	38,451	40,506
純資産合計	5,715,840	5,753,006
負債純資産合計	6,860,627	6,738,766

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	7,753,864	7,968,153
売上原価	962,201	941,405
売上総利益	6,791,663	7,026,747
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	2,423,143	2,444,990
賃借料	1,929,743	2,003,872
その他	2,110,789	2,112,443
販売費及び一般管理費合計	6,463,677	6,561,307
営業利益	327,985	465,440
営業外収益		
受取利息	1,724	2,267
受取配当金	2,021	2,610
受取家賃	29,323	29,396
受取保険料	3,391	5,694
その他	12,526	10,662
営業外収益合計	48,988	50,631
営業外費用		
支払利息	595	529
撤去費用	643	170
不動産賃貸費用	4,361	4,323
その他	6,299	5,293
営業外費用合計	11,898	10,316
経常利益	365,075	505,755
特別利益		
受取補償金	203,957	—
受取保険金	44,270	—
特別利益合計	248,228	—
特別損失		
固定資産廃棄損	7,622	7,914
役員退職慰労金	36,782	—
減損損失	245,617	220,794
特別損失合計	290,022	228,709
税金等調整前当期純利益	323,281	277,046
法人税、住民税及び事業税	198,550	176,297
法人税等調整額	△46,368	△28,512
法人税等合計	152,182	147,785
当期純利益	171,099	129,260
非支配株主に帰属する当期純利益	7,706	7,214
親会社株主に帰属する当期純利益	163,392	122,046

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益	171,099	129,260
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,798	△7,313
その他の包括利益合計	△2,798	△7,313
包括利益	168,301	121,947
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	160,594	114,732
非支配株主に係る包括利益	7,706	7,214

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自2017年4月1日 至2018年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	771,682	1,062,078	3,852,401	△118,836	5,567,325
当期変動額					
剰余金の配当			△79,280		△79,280
親会社株主に帰属する当期純利益			163,392		163,392
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	84,112	—	84,112
当期末残高	771,682	1,062,078	3,936,514	△118,836	5,651,438

	その他の包括利益累計額	新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金			
当期首残高	24,681	1,626	33,144	5,626,779
当期変動額				
剰余金の配当				△79,280
親会社株主に帰属する当期純利益				163,392
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△2,798	2,440	5,306	4,948
当期変動額合計	△2,798	2,440	5,306	89,061
当期末残高	21,883	4,066	38,451	5,715,840

当連結会計年度 (自2018年4月1日 至2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	771,682	1,062,078	3,936,514	△118,836	5,651,438
当期変動額					
剰余金の配当			△85,378		△85,378
親会社株主に帰属する当期純利益			122,046		122,046
自己株式の処分		1,019		4,644	5,664
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計		1,019	36,667	4,644	42,331
当期末残高	771,682	1,063,097	3,973,182	△114,191	5,693,769

	その他の包括利益累計額	新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金			
当期首残高	21,883	4,066	38,451	5,715,840
当期変動額				
剰余金の配当				△85,378
親会社株主に帰属する当期純利益				122,046
自己株式の処分				5,664
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△7,313	93	2,054	△5,165
当期変動額合計	△7,313	93	2,054	37,165
当期末残高	14,570	4,160	40,506	5,753,006

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	323,281	277,046
減価償却費	253,673	216,091
株式報酬費用	2,440	813
減損損失	245,617	220,794
長期前払費用償却額	27,638	27,296
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△38,141	△5,655
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,500	3,260
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	1,060	1,060
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	11,183	8,228
受取利息及び受取配当金	△3,745	△4,878
支払利息	595	529
固定資産廃棄損	7,622	7,914
受取補償金	△203,957	—
売上債権の増減額 (△は増加)	97	△74,568
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,968	9,995
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,169	△9,894
未払消費税等の増減額 (△は減少)	3,918	25,278
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△17,847	1,679
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△1,293	△19,922
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△1,865	—
その他	18,570	△24,635
小計	635,487	660,433
利息及び配当金の受取額	2,406	4,565
利息の支払額	△595	△528
補償金の受取額	93,740	110,217
法人税等の支払額	△107,361	△225,365
営業活動によるキャッシュ・フロー	623,676	549,322
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△43,985	△43,988
定期預金の払戻による収入	43,982	43,985
長期貸付金の回収による収入	5,350	5,350
有形固定資産の取得による支出	△399,760	△323,737
長期預金の預入による支出	—	△100,000
長期預金の払戻による収入	—	100,000
投資有価証券の取得による支出	△100,000	△208,500
敷金及び保証金の差入による支出	△111,804	△20,760
敷金及び保証金の回収による収入	61,748	31,130
その他	△28,142	△28,238
投資活動によるキャッシュ・フロー	△572,611	△544,759
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の処分による収入	—	5,184
リース債務の返済による支出	△49,487	△45,599
配当金の支払額	△79,262	△85,271
非支配株主への配当金の支払額	△2,400	△5,160
財務活動によるキャッシュ・フロー	△131,150	△130,846
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△80,085	△126,284
現金及び現金同等物の期首残高	2,207,775	2,127,689
現金及び現金同等物の期末残高	2,127,689	2,001,405

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準28号 2018年2月16日)等を当連結会計年度の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

この結果、前連結会計年度において、「流動資産」に区分しておりました「繰延税金資産」(前連結会計年度67百万円)は、「投資その他の資産」の「繰延税金資産」231百万円に含めて表示しております。

(セグメント情報)

当社グループは、喫茶等事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)		当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	
1株当たり純資産額	930円28銭	1株当たり純資産額	935円11銭
1株当たり当期純利益金額	26円79銭	1株当たり当期純利益金額	20円00銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	26円77銭	潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	19円97銭

(注) 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	163,392	122,046
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	163,392	122,046
期中平均株式数(株)	6,098,478	6,102,357
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	4,330	9,358
(うち新株予約権)	(4,330)	(9,358)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。